

特定テーマによせて

当社が「日本航空電子工業株式会社」として1953年に産声を上げて以来、今年でちょうど50年を迎えます。翌54年8月に日本電気玉川工場の敷地内に工場を設置するのとほとんど同時（9月）に研究室を設置し、ジャイロの研究を開始いたしました。また、翌55年8月には米国キャノン・エレクトロニクス社（現ITTキャノン社）との技術援助契約によりコネクタの開発製造が開始されました。

当時、創業者の沼本氏（故人）は社是となっています「開拓・創造・実践」の理念の元、次々と新しい自主研究開発を推し進め、その後のビジネスの基礎となる数々の製品をスタートさせました。以来同理念はたゆまず実行され、現在の「技術立社」の宣言に引き継がれております。

50年前、当社を含め日本の製造業は、欧米の先進技術を見習い、あるいは独自に技術レベルの向上とビジネスの拡大に邁進してまいりました。しかし、50年後の今日、日本は中国、ASEAN、NIES諸国に追われる立場になりました。また、情報・市場のグローバル化により激烈な製品・技術開発サイクルの直中に立たされる事になりました。

しかし、省みますとこのような苛烈な状況こそが新たな飛躍のチャンスと捕え、創業の理念に立ち返って果敢にチャレンジを続けてまいりたいと思います。

今回、当社が創立50年を迎えるに当たり、初心に帰り次の発展に向かって、各部門の将来を展望する特定テーマを組む事になりました。下記のように、各部門から将来の技術展望や、明確な形にはなっていない夢を語ってもらいました。本来の技術論文と合わせてご高覧いただき、多少なりともお役に立つと共に、これらの紹介内容について皆様の忌憚のないご意見を賜れば幸せに存じます。

中央研究所長 潟岡 泉

1. [コネクタ事業の今後10年を考える（コネクタ事業）](#)
2. [ヒューマンインターフェースデバイスの要素技術開発（システム機器事業）](#)
3. [技術屋過去現在未来抄雑談記・・・（航機事業）](#)
4. [半導体製造装置向け光学素子の開発（光デバイス事業）](#)
5. [ナノテクノロジーと中央研究所の目指す技術（中央研究所）](#)

目次

Copyright © 2003, Japan Aviation Electronics Industry, Ltd.